

# ○「農地利用状況調査結果の検証」

(京都府亀岡市第2ブロック第4回地区連絡会議)

担い手への  
農地利用の  
集積・集約化

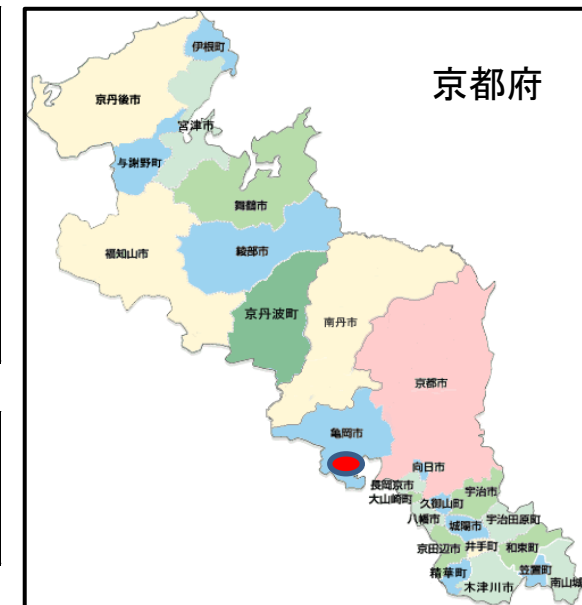
遊休農地の  
発生防止・  
解消

新規参入の  
促進

その他  
(農業委員会の  
体制強化等)

## 1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年8月31日(金)午後8時～10時30分
- 場 所: 曾我部自治会館
- 出席者: 農業委員3人、最適化推進委員5人  
現地推進役 森田
- 報告者: 森田 一三 農業会議現地推進役



## 2 地区の特徴、状況、課題

- 平地農業から中山間地農業まで混在する地域。
- 犬甘野地域において新規就農・研修性が入植。
- 

## 3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 曾我部町…遊休地のうち2～3か所が圃場整備区域となる。遊休化解消。
- 東別院町…数は昨年と変わらず。非農地手続きせず、農地のまま残すことで、産廃の捨場となることを防止する反面も。
- 西別院町…都市計画区域外。地主の考え方も様々。大阪府に近いことから産廃の捨場として狙われる。  
農地としての地目を残すことで、これらのことが防げている面も。
- 農業者との意見交換会は、町別ではなく、ブロックとして実施する。
- 期日はおおむね11月とし、次回ブロック会議で詳細検討する。
- 猿害が発生しつつある。市への通報や猟友会との連携強化を。
- 農業者との意見交換も必要だが、各世帯内では聞きづらい「次世代」の思いもアンケート調査しては。
- 次回ブロック会議 10/26(金) 東別院町

## 4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援